

報道関係各位

OYO フェア 2019「3D for Innovations～三次元化技術でつながる新たな革新」
10月10・11日東京秋葉原で開催

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 賢）は、10月10日（木）・11日（金）の2日間、東京秋葉原にて OYO フェア 2019 を開催いたします。



オープンイノベーションのための「三次元」

自然災害の激甚化・頻発化、インフラの老朽化、少子高齢化、資源・エネルギー問題など、私たちの社会は今、実に様々な課題を抱えています。地盤の三次元化技術は、これら課題の解決をめざし、シビルエンジニアリングの革新を支えるとともに、特定の業界やサービスの枠を越えて、オープンイノベーションの機会を創出します。

OYO フェアでは、これまでも、当社グループがリードする地盤の三次元化技術について、たびたび紹介して参りました。いま、BIM/CIM¹の世界的な潮流化や、国の i-Construction²推進の中で、「三次元」の重要性がますますクローズアップされています。また、近年では、建設分野以外の異業種企業との、「三次元」を核とした新たなオープンイノベーションの機会も増えてきています。

持続的な開発目標 SDGs に向けて

当社グループは、インフラ・メンテナンス、防災・減災、環境、資源・エネルギーという4

つの社会的課題の解決を企業の事業領域としています。当社グループの事業目的そのものが国際的な共通目標である SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）と軌を一にしておりますが、同時に、SDGs への貢献のためには、社会課題に対するより直接的なソリューションを生み出すことが必要であり、そのためにも、当社グループ以外の企業・団体とのオープンイノベーションが不可欠であると考えています。

OYO フェア 2019 では、オープンイノベーションを全面的に取り込み、三次元化技術を核とした、社会課題起点でのわかりやすいサービスと価値を提供することで、SDGs への貢献をめざす当社の今の取組みを紹介します。

詳しくは、下記ウェブサイトをご覧ください。入場無料、予約不要です。是非、お越し下さい。

OYO フェア 2019 特設サイト：<https://www.oyo.co.jp/exhibition-oyo-fair-2019/>

【セミナー：A～D は特別講演】

- A. 地中埋設物位置情報提供サービスの取組み
- B. トヨタのビッグデータとまちの見える化
- C. 災害から身を守るために「都市」が為すべきこと
- D. SDGs をビジネスに統合するには？

- E. BIM/CIM の国際標準化とは？～bSI の現状と当社の取組み～
- F. 三次元地下空間を「量る」～三次元探査が変える世界～
- G. 三次元物理探査から見える地下三次元情報とその活用
～地すべり・斜面 BIM/CIM へ向けて～
- H. OYO が目指す Society5.0 で実現する安心・安全な社会

【昨年の OYO フェアの様子】





以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 経営企画本部 川地真人・橋本晋一

TEL : 03-5577-4501

E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp

i Building Information Modeling/Construction Information Modeling の略。建築・土木事業の調査・設計、施工、維持管理の各段階で三次元モデルを共有し、連携・発展させることで、建設生産システム全体の効率化を図るイノベーション

ii 少子高齢化や熟練工の減少による建設現場の非生産性を解消するため、測量から設計、施工、検査、維持管理に至る全てのプロセスに ICT を導入することにより、建設生産システム全体の生産性向上を目指す取組み・政策。